

## 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業実施状況及び効果検証シート

事業No.	14	事業名	インフルエンザ予防接種助成事業			
事業実施期間	R2.10.1	事業費総額 (内、交付金充当額)	24,456,210 円	事業所管課	健康づくり課	
	～ R3.3.31		(24,456,210円)	事業費の繰越	有 ・ (無)	
事業概要	事業目的		事業内容		対象者	
	新型コロナウイルス感染症対策のため、今まで以上に多くの町民が季節性インフルエンザ予防接種を済ませることにより、町内にある各医療機関等への負担を少しでも軽減していくことを目的とする。		生後6か月以上の全町民が接種した季節性インフルエンザ予防接種費用の全額を町が助成する。(助成回数は、生後6か月以上から13歳未満の者は2回まで、13歳以上の者は1回)		生後6か月以上の全町民	
事業実施状況	評価指標	目標値	実績値	事業実績		
	接種率	60%以上 (過去5か年の高齢者インフルエンザ平均接種率51.9%のため)	56.7%	<各年代ごとの接種率実績> ①生後6か月～12歳：66.9% (1回目と2回目の合計) ②13歳～64歳：47.7% ③65歳以上：65.8% 合計 56.7%		
	事業の評価・効果検証					
	全体での目標値(60%)には到達できなかったが、子どもと高齢者の接種率が65%を超えるなど、今まで予防接種をしてこなかった方々に対しても感染症から身を守るためには、免疫水準を維持することが重要になることを広く周知することが出来た。また、今後さらなる感染症対策を推進する上においても大きな一歩に寄与した事業となった。					
	事業効果		今後の取組			
新型コロナウイルス対策として非常に効果的であった。		今後、町民に対し全額助成がなくなっても予防接種の必要性を正確に伝えるなど、接種率の維持向上を図っていかねばならない。(全町民の健康増進意識の向上)				

## 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業実施状況及び効果検証シート

事業No.	15	事業名	新型コロナウイルス商店街活性化事業			
事業実施 期間	R2.12.15	事業費総額 (内、交付金充当額)	1,000,000円	事業所管課	地域戦略課	
	～ R3.3.31		(1,000,000円)	事業費の繰越	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	
事業 概 要	事業目的		事業内容		対象者	
	新型コロナウイルス感染症の影響により、経営に支障が生じている商店街の小売業者を支援するため、野辺地町商業協同組合が実施する事業に対して補助を行う。		野辺地町商業協同組合が新型コロナウイルス感染症対策として実施した事業のうち、補助対象経費の2/3又は100万円のいずれか低い額を補助する。		野辺地町商業協同組合	
事業 実 施 状 況	評価指標	目標値	実績値	事業実績		
	補助率	100%	100%	補助金額 100万円		
	事業の評価・効果検証					
	野辺地町商業協同組合加盟店において、新型コロナウイルス感染症の直接的な原因による廃業・倒産などの情報は入っていない。					
	事業効果		今後の取組			
新型コロナウイルス対策として非常に効果的であった		新型コロナウイルス感染症の拡大状況は厳しい現状にあるため、更なる支援事業を検討し、実施していく。				

## 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業実施状況及び効果検証シート

事業No.	16	事業名	公共施設等感染症対策予防事業（サーマルカメラ購入事業）			
事業実施 期間	R3.2.15	事業費総額 (内、交付金充当額)	4,554,660 円	事業所管課	地域戦略課	
	～ R3.3.26		(4,554,660 円)	事業費の繰越	有 ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">無</span>	
事業 概 要	事業目的		事業内容		対象者	
	不特定多数に利用されている町有施設にサーマルカメラを導入し施設利用者等への感染拡大防止を図る。		町有施設 13 箇所へのサーマルカメラの設置 (中央公民館、図書館、歴史民俗資料館、馬門公民館、屋内温水プール、勤労青少年ホーム、観光物産PRセンター、生き生き常夜燈市場、健康増進センター、老人福祉センター、町立体育館、柴崎地区レクリエーション施設、地域戦略課) ・ AI 検温モニタ、体温検知システム 一式 4,745,000円		野辺地町中央公民館ほか 12 施設	
事業 実 施 状 況	評価指標	目標値	実績値	事業実績		
	町有施設へのサーマルカメラ設置数	13 施設	13 施設	町有施設 13 箇所へのサーマルカメラの設置 ・ AI 検温モニタ 235,000円 × 11台 = 2,585,000円 ・ サーマルカメラ 398,000円 × 2台 = 796,000円 ・ 専用三脚 9,800円 × 2台 = 19,600円 ・ パトライト 170,000円 × 2台 = 340,000円 ・ 管理用PC (モニタ含) 150,000円 × 2台 = 300,000円 ・ 設置費 50,000円 × 2台 = 100,000円 ・ 消費税 414,060円 < 合計 > 4,554,660円		
	事業の評価・効果検証					
	町有 13 施設へサーマルカメラを設置し発熱者への入館制限を図ったことにより、現在まで町有施設に関連した新型コロナウイルス感染は発生していない。					
	事業効果		今後の取組			
新型コロナウイルス対策として非常に効果的であった		サーマルカメラを継続して設置し感染拡大対策を図るとともに、施設利用者が安心して利用できるよう取り組んでいく。				

## 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業実施状況及び効果検証シート

事業No.	17	事業名	スクールバス等利用環境改善事業			
事業実施 期間	R2.6.22		事業費総額 (内、交付金充当額)	445,852円	事業所管課	学校教育課
	～ R3.2.19			(445,852円)	事業費の繰越	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
事業 概 要	事業目的		事業内容			対象者
	小・中学校の校外学習及び大会派遣等に使用するスクールバス等の乗車人数が密にならないよう、運行するバスを増便する。		校外行事及び部活動大会でのバス借上げ 8台分 445,852円			小・中学校
事業 実 施 状 況	評価指標	目標値	実績値	事業実績		
	校外行事・部活動大会でのスクールバス増便数	8台	8台	バスの乗車定員内の利用ではあるが、密を避けるため、利用者を分散し運行した。		
	事業の評価・効果検証					
	新型コロナウイルス対策としてバスを増便したことにより、小・中学校の児童生徒が安全に利用することができた。					
	事業効果			今後の取組		
新型コロナウイルス対策として非常に効果的であった			感染の発生状況等に応じて、今後もバスを増便する。			